



YASKAWA

株主のみなさまへ

第92期 中間ご報告

平成19年3月21日 ▶ 平成19年9月20日

機械と人間の共生へ — Quality & Beauty

株式会社 安川電機

(証券コード:6506)



株主のみなさまへ

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申しあげます。

第92期中間期(平成19年3月21日から平成19年9月20日まで)における当社及び子会社、関連会社を含む当社グループの業績について、概要をご報告申しあげます。

当中間期における世界経済は、欧州及びアジアでは概ね堅調に推移しましたが、後半に至っては、米国の住宅ローン問題や為替の急激な変動もあり、先行き不透明感が強まってまいりました。

また、当社グループの主要関連業界別では、電子部品業界は堅調に推移し、空調業界や鉄鋼業界は好調に推移いたしましたが、液晶業界や米国の自動車業界では設備投資を控える動きが強まるなど、好不調が分かれる状況となりました。

このような環境の中で、当社グループは、中期経営計画“ダッシュ100”の2年目にあたる今年度を、その目標達成に向けて強力な地盤づくりを行う年と位置づけ、付加価値を高め、競争力を強めた新製品の市場投入を行い、開発力・営業力・生産力の総合力を活かした拡販とシェアの拡大に努めるとともに、製品品質向上の活動強化、人材育成等の諸施策を実行してまいりました。

この結果、当社グループの業績につきましては、売上高は、高い伸びを示した前年同期をさらに上回る1,837億94百万円(前年同期比2.3%増)となり、利益面では、高付加価値品の拡大もあり、営業利益164億66百万円(同9.0%増)、

経常利益169億7百万円(同11.5%増)、中間純利益96億68百万円(同10.8%増)となり、いずれも中間期としては過去最高となりました。また、売上高経常利益率は9.2%に上昇し、“ダッシュ100”の目標である10%に向けて、着実に成果を上げております。

なお、当社業績につきましても、売上高1,054億90百万円(前年同期比1.7%増)、営業利益71億45百万円(同51.5%増)、経常利益100億13百万円(同20.4%増)、中間純利益68億51百万円(同10.4%増)となり、いずれも中間期としては過去最高となりました。

以上のような業績をふまえ、中間配当につきましては、前期の中間配当より1株につき2円増配し、5円とさせていただきます。

今後の景気見通しにつきましては、米国経済の減速や、為替の変動、原油や資源価格の上昇、金利の動向等のリスクが懸念されますが、堅調に推移するものとみられます。

このような状況の中で、当社グループといたしましては、市場の変化を的確に把握し、景気変動リスクに留意しつつ、中期経営計画“ダッシュ100”で掲げた目標の早期実現に向けて、当中間期に引き続き、基本方針、重点方針に沿った諸施策を実施してまいります。

具体的には、シェア拡大に向けて、競争力のあるACサーボ・コントローラやインバータ、ロボットなどのメカトロ製品群の品揃えを強化するとともに、当中間期に竣工したインバータ

新工場（ドライブセンタ）では、自社製のロボットやコントローラ等を活用し、生産ラインの大幅な自動化・効率化を進め、生産能力増強及び生産効率向上を実現してまいります。

また、当社グループのブランド価値の源泉・基盤である品質について、お客様にさらに満足していただけるよう、一層の革新を進めてまいります。

さらに、当社グループの将来性を拡げていくため、新世代ロボット等での多様な用途での適用を模索し、新しい市場の創出に取り組むとともに、従業員一人ひとりの能力を一層高め、組織の力を最大限に発揮するための人的基盤を整えるべく、人材育成にも努めてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年11月

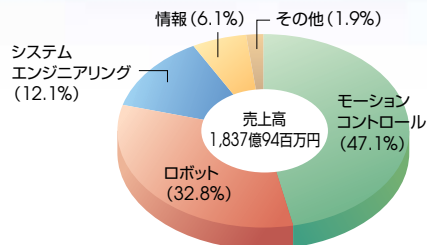


取締役社長

利島 康司

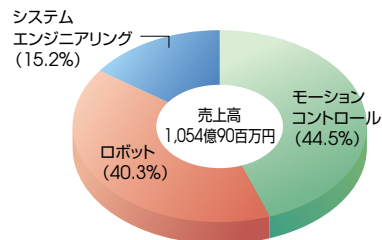
第92期中間期 売上高構成比率

● 連結売上高



営業利益: 164億66百万円
 経常利益: 169億7百万円
 中間純利益: 96億68百万円

● 単独売上高



営業利益: 71億45百万円
 経常利益: 100億13百万円
 中間純利益: 68億51百万円

部門別の概況



主要製品

ACサーボモータ・制御装置	DCサーボモータ・制御装置	省エネモータ・インバータ	NCシステム
汎用インバータ	高速モータ	高周波インバータ	ビジョンシステム
工作機械用AC主軸モータ・制御装置	小形精密モータ	プログラマブルコントローラ	その他
リニアモータ・制御装置	複合モータ	マシンコントローラ	

当部門においては、ACサーボ・コントローラは、新製品投入や拡販強化等の施策の効果もあり、電子部品業界向け等が堅調に推移いたしました。液晶業界向けは本格的な需要回復には至りませんでした。

インバータは、国内外の空調設備向けや海外におけるインフラ投資の拡大により、前年度に引き続き好調に推移いたしました。

この結果、売上高864億48百万円（前年同期比9.8%増）、営業利益104億60百万円（同2.8%増）となりました。



主要製品

アーク溶接ロボット	ハンドリングロボット	クリーン・真空内搬送システム	その他
スポット溶接ロボット	半導体・液晶製造装置用クリーン・真空ロボット	ロボット応用FAシステム	
塗装ロボット	特殊アクチュエータ	医療・福祉サービスロボット	

当部門においては、自動車業界向けを中心とする溶接、ハンドリング、塗装ロボット等は、国内及び欧州向けは堅調に推移いたしました。米国向けは設備投資抑制の影響を受けました。また、液晶業界向けは需要の本格回復に至りませんでした。

この結果、売上高602億36百万円（前年同期比4.5%減）となりました。利益面では当社の得意とする中・小形ロボットの増加により、営業利益40億42百万円（同0.2%増）となりました。

システム エンジニアリング



主要製品

鉄鋼プラント用電機システム	港湾荷役用クレーン制御システム	高圧開閉装置	中大形誘導電動機
上下水道用電気計装システム	紙・フィルム・繊維製造装置・	コントロールセンタ	中形発電機及び発電装置
道路設備電源システム	印刷機械用可変速ドライブシステム	システム用制御盤	その他産業用回転機
環境プラント用電機システム	システム情報制御機器	電力用配電機器	その他
パワーメカトロシステム	中容量高圧インバータ	永久磁石内蔵形回転機	

当部門においては、好調を続けている鉄鋼業界の設備投資増加を受注・売上・利益に結びつける活動が奏功したことにより、売上高223億円（前年同期比5.7%増）、営業利益7億98百万円（同15億55百万円増）と、大幅に損益を改善し黒字が定着してまいりました。

情報・その他



主要製品

情報	その他
・フロッピーディスクドライブ	・OA機器
・二次元コードマーキング・読取装置	・物流サービス
・情報処理ソフト及びサービス	・人材派遣
	・その他

情報部門においては、通信事業者向けシステム及び製造業向け生産・販売管理システムの構築は堅調に推移いたしました。液晶業界向けの需要低迷や特定用途向け端末機器の減少の影響を受けました。

この結果、売上高112億63百万円（前年同期比14.0%減）、営業利益1億88百万円（同70.8%減）となりました。

その他の部門においては、売上高35億45百万円（前年同期比4.5%減）、営業利益9億73百万円（同2.1%減）となりました。

高性能と調整のしやすさを追求した ACサーボドライブ Σ -V (シグマ・ファイブ) シリーズ

ACサーボドライブ Σ シリーズの新シリーズとして、業界最高性能となる Σ -V (シグマ・ファイブ) シリーズを市場投入しました。 Σ -Vは、業界最高性能はもちろんのこと、つなげばすぐ動く新調整レス機能*¹を搭載し、サーボ調整は必要なものという業界の常識を覆す使いやすさを実現しました。また、CE規格、UL規格、RoHS指令*²に対応し、国内業界で初めてセーフティ規格*³へも対応しています。この Σ -V の投入により、ACサーボドライブのグローバルシェア No. 1 の地位を確固たるものにしてまいります。

*¹：一切のサーボ調整を必要としない自動調整機能

*²：ヨーロッパで発効した有害物質禁止指令

*³：機械を安全に停止させるための国際規格 IEC60204-1



Σ -V (シグマ・ファイブ) シリーズ

アーク溶接用途最適化ロボット MOTOMAN-EA1800N

アーク溶接用途専用の形状・機能を有する MOTOMAN-EA シリーズは、溶接時間の短縮や溶接品質向上に貢献し、お客様にご好評をいただいています。今回発売した MOTOMAN-EA1800N は、旋回軸動作速度を 15% アップ*しており、溶接を行っていない（エアカット）時間を短縮します。また、可搬質量を 15kg にアップしたことで、特殊な溶接用トーチだけでなく、カメラなどのセンサも搭載でき、新しい使い方の可能性を広げるロボットとして適用分野を拡大してまいります。

*：当社従来機種比



MOTOMAN-EA1800N

安川情報システム株式会社

GPS測位機能による位置情報取得を実現 「Intesse D2-K's1 EL / D2-K's2 EL」

ハイパフォーマンスなLSIを搭載した通信端末「Intesse D2Coreシリーズ」は、携帯電話の通信網を通じて、遠隔地にある業務用車両・産業機器・自動販売機などから稼動状況等の情報を取り込み、事務所に無線通信で送ることにより、お客様のリアルタイムでの一括した遠隔監視・制御管理を可能としてきました。

この度、「Intesse D2Coreシリーズ」に、新たにGPS測位機能を付加した「Intesse D2-K's1 EL / D2-K's2 EL」を製品化しました。GPS測位機能の付加により車・人・モノの高精度な位置情報管理を行うことができ、例えば、運送事業分野等では運搬車両の現在位置情報の取得により、空車走行の削減等の詳細かつ効率的な運行管理が実現できるようになります。



Intesse D2-K's1 EL / D2-K's2 EL

株式会社 ワイ・イー・データ

オールデジタル方式ガルバノスキャナシステム 「MIRAMOTION(ミラモーション)」新機種を発売

「MIRAMOTION (ミラモーション)」は、温度によるドリフトを低減し、高い繰り返し精度でレーザを走査します。

この度、レーザ走査の非直線性を従来比1/2以下に改善するなど高精度化を実現した新機種を製品化いたしました。小径ミラー用スキャナモータの追加により、レーザマーキング、レーザ測定など、小ビーム径のレーザ応用製品への用途展開を図ってまいります。



MIRAMOTION(ミラモーション)

TOPICS

1

インバータ新工場「DRIVE CENTER (ドライブセンタ)」が竣工

インバータ製品の品質強化と生産能力の向上を目的として、インバータ新工場「DRIVE CENTER (ドライブセンタ)」が竣工いたしました。当社製ロボットとFA機器を活用した新生産方式により、生産能力倍増(年間150万台)、生産性50%アップを図り、市場への製品供給能力を大幅に向上します。



DRIVE CENTERの外観



V1000 製造ライン

「フレキシブル自動組立ライン」による大量生産

当社の産業用ロボットで各要素作業を機械化したセルモジュールをRFID技術*で連携し、当社のマシンコントローラ・サーボ・インバータを活用した自動生産ラインです。

*: Radio frequency identificationの略。ID情報を埋め込んだタグから、電磁界や電波などを用いた近距離の無線通信によってヒトやモノを識別・管理する仕組み。

TOPICS

2

汎用インバータ累積出荷台数「1000万台」達成

1974年に世界初のトランジスタインバータ(VS-616T)を出荷、その後、1994年に世界初のASIPM*¹を採用した超小形インバータVS mini Cの市場投入を機に、急激に出荷台数が増加しました。そして2007年6月に汎用インバータの累積出荷台数が業界初の1000万台を突破しました。2006年度のグローバルシェアは14%*²を超え、今後も新製品の投入などにより、さらなる売上の拡大を図ってまいります。



記念すべき1000万台目のV1000

*1: インバータに特化した高性能トランジスタ・モジュール
Application Specific Intelligent Power Module

*2: 当社による推定

TOPICS

3

最新形ロボットによる 物流作業支援デモラインを設置

当社と三井物産株式会社殿は、非製造業分野におけるロボット市場の創出・開拓を目的に提携しています。このたび物流分野において、小物仕分け装置トップメーカーのホクショー株式会社殿のご協力を得て、ロボットを用いた小物仕分け作業システムを開発いたしました。今後のロボットの応用分野として搬送、組立の分野が有望であり、今回の開発はその一環です。このデモラインは、ホクショー株式会社殿の工場内に常設しています。



デモラインに導入した7軸双腕ロボット
〔MOTOMAN-DIA 10〕

TOPICS

4

タイ国安川電機〔YASKAWA ELECTRIC (THAILAND) CO.,LTD.〕が首都バンコクにFAセンタを開設

タイでは自動車、家電、建機、食品産業が順調に発展しており、なかでも日系自動車メーカーの成長がめざましく、生産台数を大幅に伸ばしています。

こうした市場の動きのなか、タイ国安川電機〔YASKAWA ELECTRIC (THAILAND) CO.,LTD.〕は5月、首都バンコクの中心地にFAセンタを開設いたしました。

センタ内に各種ロボットを展示しており、今後の受注拡大に向けて、ご見学のほか、各種サンプルテスト、教育を実施してまいります。



ロボット展示コーナ

TOPICS

5

福岡県指定無形民俗文化財 「小倉祇園太鼓」に 双腕ロボットが出演

400年近い歴史を持つ北九州の夏祭り「小倉祇園太鼓」にMOTOMANを搭載した「ロボット山車」が特別出演しました。競演大会では見事なバチさばきを披露し、ご好評をいただきました。今後も地域のみなさまと触れ合う機会を増やしてまいります。



競演大会に出演した「ロボット山車」

連結財務諸表（要約）

● 中間連結貸借対照表（平成19年9月20日現在）（単位：百万円）

資産の部		負債の部	
流動資産	191,434	流動負債	136,039
現金及び預金	14,246	支払手形及び買掛金	67,467
受取手形及び売掛金	98,961	短期借入金	19,823
有価証券	31	1年内償還社債	10,000
たな卸資産	59,988	未払費用	18,858
繰延税金資産	7,426	未払法人税等	6,709
その他	11,617	その他	13,180
貸倒引当金	△ 837	固定負債	41,623
固定資産	86,764	長期借入金	5,649
有形固定資産	41,447	退職給付引当金	34,442
建物及び構築物	17,338	役員退職慰労引当金	779
その他	24,109	その他	752
無形固定資産	7,132	負債合計	177,663
投資その他の資産	38,183	純資産の部	
投資有価証券	22,232	株主資本	89,050
繰延税金資産	12,533	資本金	23,062
その他	3,741	資本剰余金	18,651
貸倒引当金	△ 323	利益剰余金	47,674
		自己株式	△ 337
		評価・換算差額等	5,967
		その他有価証券評価差額金	3,498
		繰延ヘッジ損益	△ 6
		為替換算調整勘定	2,474
		少数株主持分	5,518
		純資産合計	100,535
資産合計	278,198	負債・純資産合計	278,198

● 中間連結損益計算書（単位：百万円）

自平成19年3月21日 至平成19年9月20日	
売上高	183,794
売上原価	131,310
売上総利益	52,483
販売費及び一般管理費	36,017
営業利益	16,466
営業外収益	1,336
受取利息	90
受取配当金	253
持分法による投資利益	638
雑収益	352
営業外費用	895
支払利息	581
為替差損	164
雑損失	148
経常利益	16,907
特別利益	118
固定資産売却益	4
投資有価証券売却益	24
その他	90
特別損失	575
固定資産廃却損	52
減損損失	301
その他	222
税金等調整前中間純利益	16,450
法人税、住民税及び事業税	6,688
法人税等調整額	△ 104
少数株主利益	198
中間純利益	9,668

● 中間連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

自平成19年3月21日 至平成19年9月20日											
	株 主 資 本					評 価 ・ 換 算 差 額 等				少 数 株 主 持 分	純 資 産 合 計
	資 本 金	資 本 剰 余 金	利 益 剰 余 金	自 己 株 式	株 主 資 本 合 計	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	為 替 換 算 調 整 勘 定	評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計		
平成19年3月20日残高	19,953	15,489	38,736	△ 282	73,897	4,619	△ 8	2,280	6,890	5,454	86,242
中間連結会計期間中の変動額											
新株予約権の行使	3,108	3,091			6,199						6,199
剰余金の配当			△ 730		△ 730						△ 730
中間純利益			9,668		9,668						9,668
自己株式の取得				△ 79	△ 79						△ 79
自己株式の処分		70		24	94						94
連結子会社増加による増加			0		0						0
株主資本以外の項目の中間連結 会計期間中の変動額(純額)						△ 1,120	2	194	△ 923	63	△ 859
中間連結会計期間中の変動額合計	3,108	3,162	8,937	△ 55	15,153	△ 1,120	2	194	△ 923	63	14,293
平成19年9月20日残高	23,062	18,651	47,674	△ 337	89,050	3,498	△ 6	2,474	5,967	5,518	100,535

連結財務諸表（要約）

● 中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

自平成19年3月21日 至平成19年9月20日	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	16,450
減価償却費	3,516
減損損失	301
投資有価証券売却益	△ 24
売上債権の増減額	△ 156
たな卸資産の増減額	△ 1,572
仕入債務の増減額	△ 3,031
法人税等の支払額	△ 5,562
その他	1,336
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,256
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産等の取得による支出	△ 4,138
有形固定資産等の売却による収入	168
投資有価証券等の取得による支出	△ 619
投資有価証券等の売却による収入	50
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	165
その他	96
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,277
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額	△ 2,106
長期借入による収入	290
長期借入金の返済による支出	△ 3,503
配当金の支払額	△ 730
少数株主への配当金の支払額	△ 128
その他	△ 10
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,189
現金及び現金同等物に係る換算差額	69
現金及び現金同等物の増減額	858
現金及び現金同等物の期首残高	13,214
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加	27
現金及び現金同等物の中間期末残高	14,100

単独財務諸表（要約）

● 中間単独貸借対照表（平成19年9月20日現在）（単位：百万円）

資産の部		負債の部	
流動資産	112,038	流動負債	90,883
現金及び預金	7,544	支払手形	4,066
受取手形	8,952	買掛金	41,550
売掛金	56,152	短期借入金	7,930
たな卸資産	24,028	1年内償還社債	10,000
繰延税金資産	2,538	未払費用	10,847
その他	15,325	未払法人税等	3,211
貸倒引当金	△ 2,503	その他	13,277
固定資産	74,365	固定負債	30,223
有形固定資産	25,503	長期借入金	3,990
無形固定資産	5,048	退職給付引当金	25,753
投資その他の資産	43,813	役員退職慰労引当金	478
繰延税金資産	9,206		
その他	35,131		
貸倒引当金	△ 523		
		負債合計	121,106
		純資産の部	
		株主資本	61,921
		資本金	23,062
		資本剰余金	18,496
		資本準備金	18,491
		その他資本剰余金	5
		利益剰余金	20,606
		その他利益剰余金	20,606
		自己株式	△ 243
		評価・換算差額等	3,375
		その他有価証券評価差額金	3,389
		繰延ヘッジ損益	△ 13
		純資産合計	65,297
資産合計	186,404	負債・純資産合計	186,404

● 中間単独損益計算書（単位：百万円）

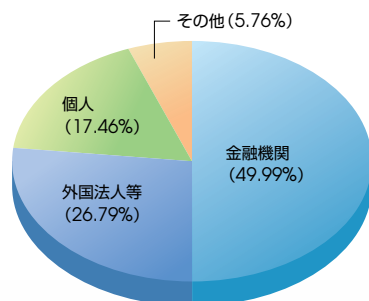
自平成19年3月21日 至平成19年9月20日	
売上高	105,490
売上原価	81,254
売上総利益	24,235
販売費及び一般管理費	17,089
営業利益	7,145
営業外収益	3,481
受取利息・配当金	3,422
雑収益	59
営業外費用	613
支払利息	239
雑損失	374
経常利益	10,013
特別利益	578
特別損失	497
税引前中間純利益	10,094
法人税、住民税及び事業税	3,170
法人税等調整額	72
中間純利益	6,851

株式の状況 (平成19年9月20日現在)

発行可能株式総数 …………… 560,000 千株
 発行済株式の総数 …………… 252,331 千株
 株主数 …………… 20,547 名

主要大株主	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	22,348 千株	8.86%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	16,545 千株	6.56%
株式会社みずほコーポレート銀行	9,473 千株	3.75%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (中央三井信託銀行退職給付信託口)	7,970 千株	3.16%
明治安田生命保険相互会社	7,967 千株	3.16%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (住友信託銀行再信託分・株式会社福岡銀行退職給付信託口)	6,375 千株	2.53%
ザチースマンハッタンバンクエスイロンドンエスエルコムコアアカウント	4,678 千株	1.85%
日本生命保険相互会社	4,247 千株	1.68%
ピービーエチルクスファイテリテイファンスジャパンファンド	4,039 千株	1.60%
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー 505211	3,629 千株	1.44%

所有者別株式分布状況



役員 (平成19年9月20日現在)

取締役会長	中山 眞
取締役社長	利島 康司
専務取締役	武井 紘一
常務取締役	鬼頭 正雄
常務取締役	岩田 定廣
取締役	佐藤 光昭
取締役	沢 俊裕
取締役	宮原 範男
取締役	清水 喜文
取締役	宇佐見 昇
取締役	後藤 英樹
取締役	津田 純嗣
取締役	中村 公規
取締役	小笠原 浩
取締役	本松 修
常任監査役(常勤)	堀田 忠和
監査役(常勤)	実松 敏文
監査役	谷 正明
監査役	多喜田 一郎

株主メモ

事業年度	毎年3月21日から 翌年3月20日まで	株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
定時株主総会	6月	同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
(配当金受領) 株主確定日)	毎年3月20日(期末配当金) 毎年9月20日(中間配当金)	(郵便物送付先) 電話照会先)	〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話(フリーダイヤル) 0120-288-324
公告掲載新聞	日本経済新聞	同 取 次 所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスタース証券株式会社 本店及び全国各支店
上場証券取引所	東京・福岡		

ホームページのご案内

下記の当社ホームページにて、決算情報やニュースリリースを随時ご提供いたしております。
<http://www.yaskawa.co.jp/>

株式の事務手続き(届出住所・印鑑・姓名等の変更、株券失効の申請、配当金振込指定、单元未満株式買取請求、单元未満株式買増請求、名義書換請求等)書類のご請求につきましては、上記株主名簿管理人にてお電話ならびにインターネットにより受け付けておりますので、ご利用ください。

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

フリーダイヤル 0120-288-324

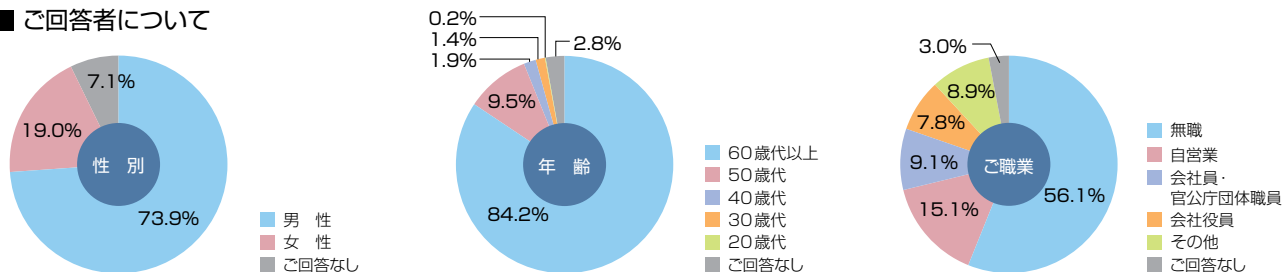
インターネット <http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/>

なお、証券保管振替制度をご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社にご照会ください。

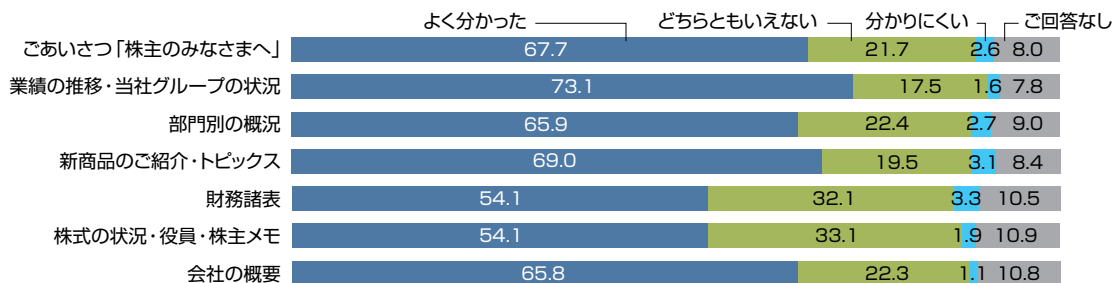
「株主の皆様へ（第91回事業ご報告）」に同封したアンケートの集計結果

平成19年6月にお送りした「株主のみなさまへ（第91回事業ご報告）」にアンケートハガキを同封させていただき、ご協力をお願いしましたところ、704名の株主様（平成19年3月20日現在の株主数22,311名の3.2%にあたります）からご回答をお寄せいただきました。ご協力いただき、誠にありがとうございました。
この場を借りてお礼申し上げますとともに、お寄せいただいた回答の集計結果（抜粋）につきましてご報告させていただきます。

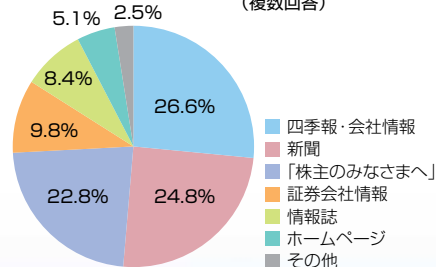
■ ご回答者について



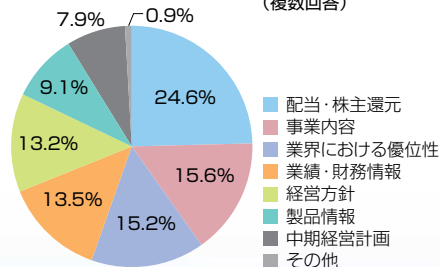
■ 「株主のみなさまへ（第91回事業ご報告）」への評価（ご回答は1つ選択、数字は%）



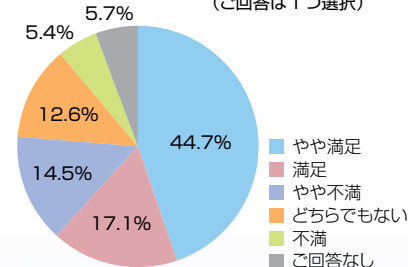
■ 当社に関する情報入手手段（複数回答）



■ 当社について関心のある情報（複数回答）



■ 株主として、当社に対する評価（ご回答は1つ選択）

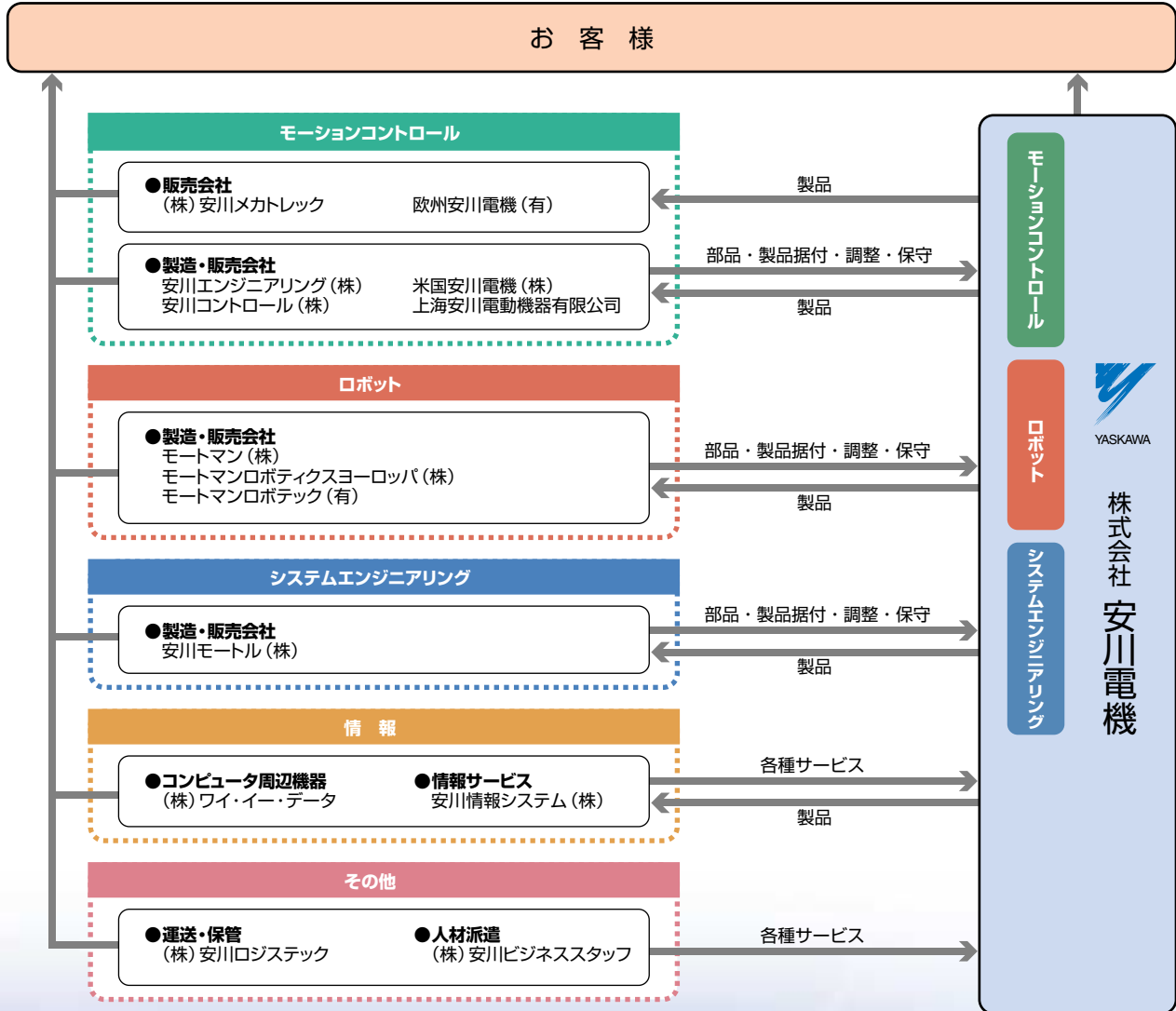


上記の各項目へのご回答の他、当社に対する印象を含めご意見、ご感想やご要望、また当社に対する激励のコメントも多数お寄せいただきました。重ねて厚くお礼申し上げます。

いただいたご意見を真摯に受け止め、今後の事業活動に活かしてまいりますので、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

当社グループの状況

当社グループは、当社を中核として子会社82社及び関連会社20社（平成19年9月20日現在）により構成され、「モーションコントロール」「ロボット」「システムエンジニアリング」「情報」「その他」の各部門の様々な分野において、製造、販売、据付、保守、エンジニアリングなどの事業展開を行っております。



(注) 上記の会社はすべて連結子会社であります。
主要な会社のみ表示しております。

会社の概要 (平成19年9月20日現在)

商号 株式会社 安川電機

英文社名 YASKAWA Electric Corporation

設立 大正4年7月16日

従業員 8,257名(連結) 2,808名(単独)

事業所 本社 〒806-0004
北九州市八幡西区黒崎城石2番1号
電話(093)645-8801

東京支社 〒105-6891
東京都港区海岸一丁目16番1号
電話(03)5402-4502

名古屋支店 〒450-0002
名古屋市中村区名駅三丁目25番9号
電話(052)581-2761

大阪支店 〒530-0003
大阪市北区堂島二丁目4番27号
電話(06)6346-4500

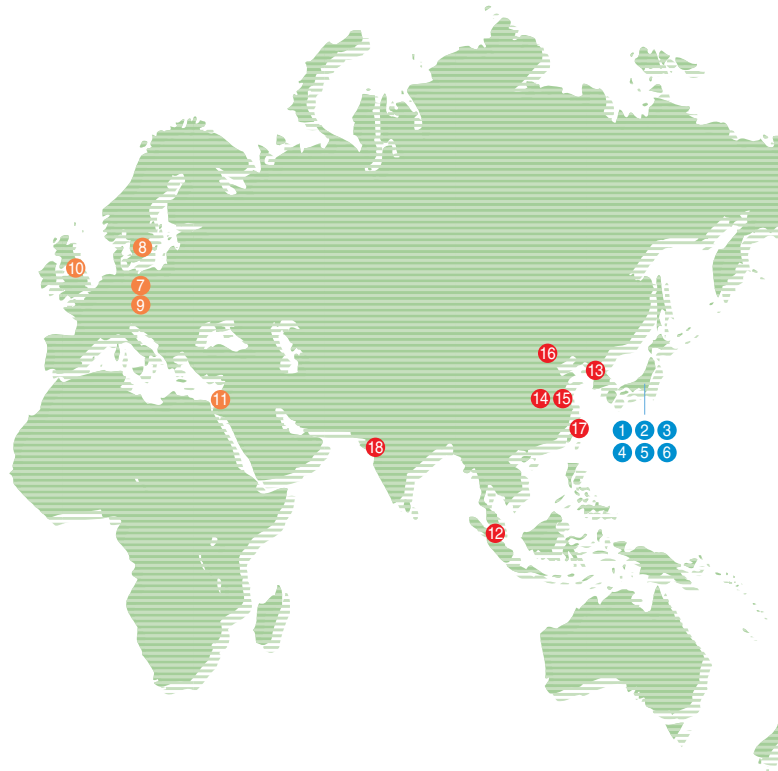
九州支店 〒810-0001
福岡市中央区天神四丁目1番1号
電話(092)714-5331

工場等 八幡西事業所・八幡東事業所・行橋事業所
入間事業所・小倉事業所

国内関連会社

JAPAN

- 1 株式会社 ワイ・イー・データ
電算機周辺・端末機器の製造・販売ならびに
Ontrack (オントラック) データ復旧サービス
- 2 安川情報システム株式会社
計算処理受託・ソフトウェア開発ならびにシステム機器販売
- 3 安川コントロール株式会社
電気機械器具及びその部品の製造及び販売
- 4 安川エンジニアリング株式会社
電気機械設備の保全・整備及び技術指導
- 5 株式会社 安川ロジステック
製品の保管・輸送等の物流サービス
- 6 安川モートル株式会社
電動機、発電機及び電動機応用製品の設計・製造・販売



海外関連会社

EUROPE

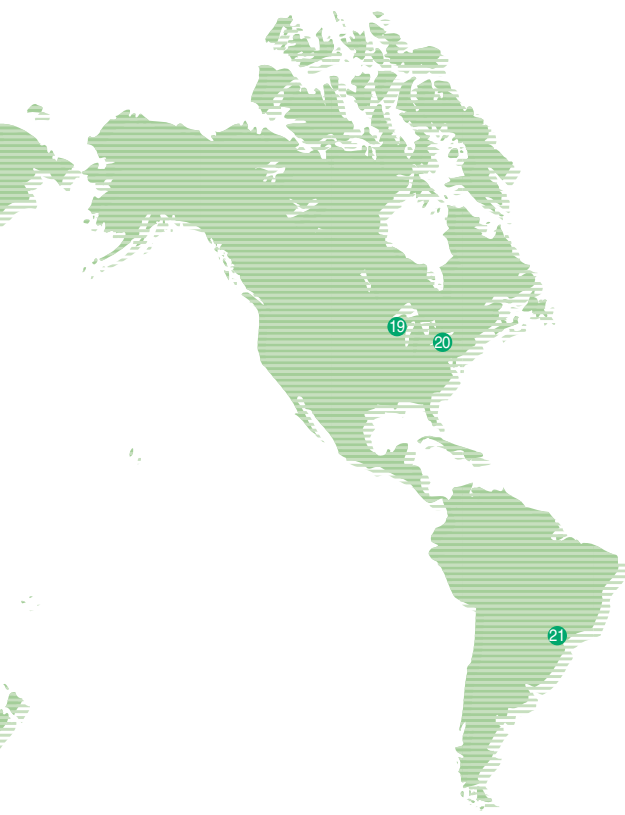
- ⑦ YASKAWA ELECTRIC EUROPE GmbH (ドイツ)
電気機器の輸入・製造・販売・サービス
- ⑧ MOTOMAN ROBOTICS EUROPE AB (スウェーデン)
ロボット及びロボットシステムの製造・販売・サービス
- ⑨ MOTOMAN ROBOTEC GmbH (ドイツ)
ロボット及びロボットシステムの製造・販売・サービス
- ⑩ YASKAWA ELECTRIC UK LTD. (イギリス)
インバータの製造・販売・サービス
- ⑪ YASKAWA ESHED TECHNOLOGY LTD. (イスラエル)
モーションコントロール製品の開発及び製造

ASIA

- ⑫ YASKAWA ELECTRIC (SINGAPORE) PTE. LTD. (シンガポール)
電気機器の輸入・販売・サービス
- ⑬ YASKAWA ELECTRIC KOREA CORPORATION (韓国)
電気機器の輸入・販売・サービス
- ⑭ YASKAWA ELECTRIC(SHANGHAI) CO., LTD.(中国)
電気機器の輸入・販売・サービス
- ⑮ SHANGHAI YASKAWA DRIVE CO., LTD.(中国)
電気機器の製造・販売
- ⑯ SHOUGANG MOTOMAN ROBOT CO.,LTD.(中国)
ロボット及びロボットシステムの製造・販売・サービス
- ⑰ YASKAWA ELECTRIC TAIWAN CORPORATION (台湾)
電気機器の輸入・販売・サービス
- ⑱ MOTOMAN MOTHERSON ROBOTICS LTD.(インド)
ロボット及びロボットシステムの販売・サービス

AMERICA

- ⑲ YASKAWA ELECTRIC AMERICA, INC. (アメリカ)
電気機器の輸入・製造・販売・サービス
- ⑳ MOTOMAN INC. (アメリカ)
ロボット及びロボットシステムの製造・販売・サービス
- ㉑ YASKAWA ELÉTRICO DO BRASIL LTDA. (ブラジル)
電気機器の輸入・製造・販売・サービス





YASKAWA



- 古紙配合率100%再生紙を使用しています。
- 環境にやさしい植物性大豆油を使用しています。